

S I D R

滋賀県感染症情報

SHIGA Infectious Diseases Report

《週報》

第 7 巻第 26 号

第 26 週 (6月25日 ~ 7月1日)

発行年月日:平成19年(2007年) 7月 5日

発行 :滋賀県衛生科学センター内
滋賀県感染症情報センター

電話 077-537-7438 FAX 077-537-5548

今週の感染症発生動向

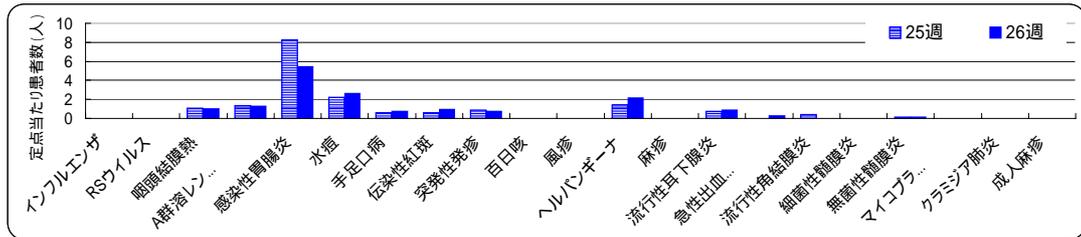
滋賀県における麻疹の発生状況
ヘルパンギーナの発生は急増!
滋賀県における全数報告感染症の概要(平成19年第23~26週)

定点把握の対象となる五類感染症の発生状況は、平成19年第25週(6月18日~6月24日)の報告数より少なくなっています。今週増加した疾患は水痘、手足口病、ヘルパンギーナ、流行性耳下腺炎(おたふくかぜ)等で、減少した疾患はA群溶レン菌咽頭炎、感染性胃腸炎等です(詳細については、疾病別定点当たり患者数のグラフ参照)。

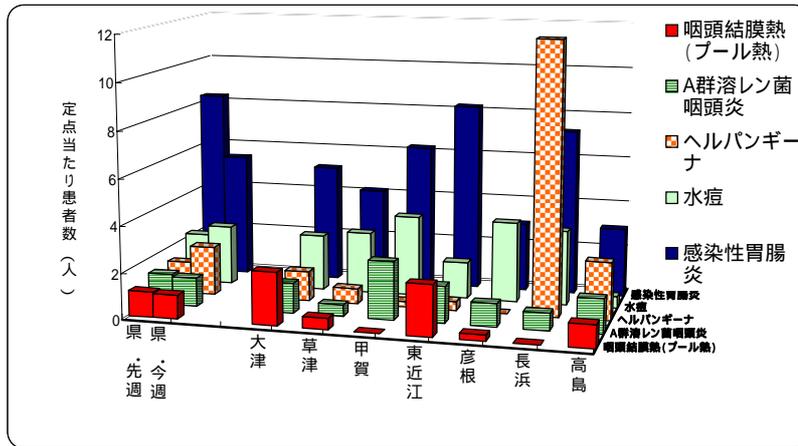
「感染症発生動向調査に基づく感染症の警報・注意報システム」による警報および注意報の発生状況は下記の表(滋賀県における保健所管内別警報および注意報発生状況)のとおりです。

全数把握対象疾患では、二類感染症の結核 6名、三類感染症の腸管出血性大腸菌感染症 2名および五類感染症の後天性免疫症候群 1名の届出がありました。

定点把握の対象となる五類感染症の疾患別発生状況(前週との比較、定点当たり患者数)



上位5疾患の発生状況(定点把握対象五類感染症、第26週、定点当たり患者数)



県全体における上位疾患の発生状況についてはグラフに示すとおり、感染性胃腸炎、水痘、ヘルパンギーナ、A群溶レン菌咽頭炎、咽頭結膜熱(プール熱)の順に多くなっています。ヘルパンギーナは先週に引き続き長浜で急増しています。また、感染性胃腸炎はすべての保健所管内で先週より少なくなっています。

滋賀県における保健所管内別警報発生状況(平成19年第26週)

疾患名	県	保健所管内別							警報開始基準値	警報継続基準値
		大津	草津	甲賀	東近江	彦根	長浜	高島		
咽頭結膜熱(プール熱)	1.03	2.29	0.50	0	2.20	0.25	0	1.00	2.00	0.10
伝染性紅斑(リンゴ病)	0.91	0.43	0.50	3.50	0.20	0.75	1.00	0.50	2.00	1.00
ヘルパンギーナ	2.13	1.29	0.67	0.25	0.40	0	11.75	2.50	6.00	2.00
急性出血性結膜炎	0.29	0	0	0	2.00	0	0	0	1.00	0.100

*基準値はすべて定点当たり患者数(人)です。

★: 警報開始基準値または警報継続基準値を超えています。

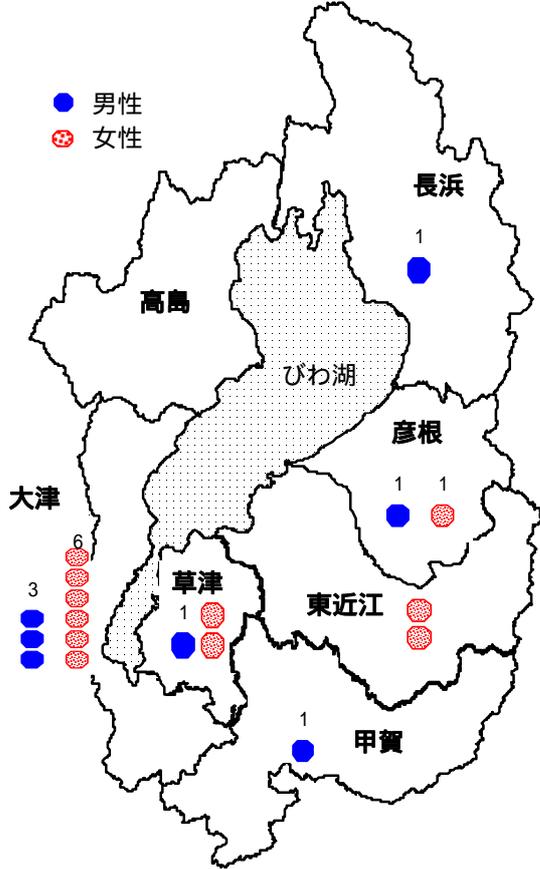
流行発生警報(警報):流行発生警報(警報)という表現により大きな流行が発生した、または発生している可能性があるという情報を提供しています。

滋賀県における麻しんの発生状況

麻しんの流行が全国的に拡大しているため、滋賀県では県内における麻しんの流行を早期に把握することを目的とし全数調査^(*)を平成19年5月23日から実施しています。全数調査に基づき、医療機関から報告された麻しんの発生状況は下記のとおりです。

(*)：滋賀県内の全ての医療機関を対象に実施している調査

1)保健所管内別・性別発生状況(平成19年7月5日現在)



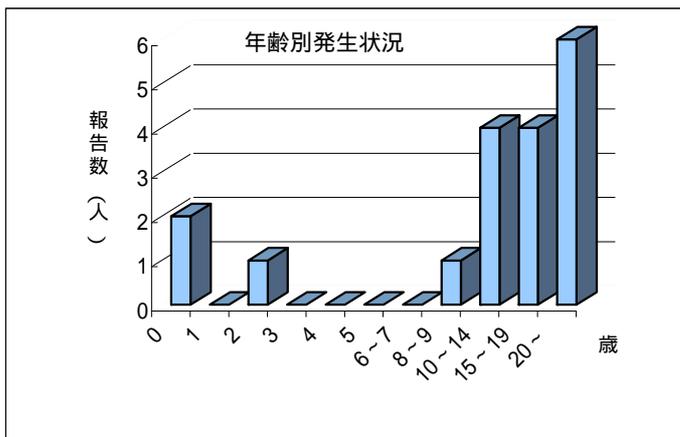
保健所	性別	報告数(人)	
		全数調査 ^{*1}	定点把握調査(再掲) ^{*2}
大津	男性	3	
	女性	6	(2)
草津	男性	1	
	女性	2	(1)
甲賀	男性	1	
	女性		
東近江	男性		
	女性	2	(1)
彦根	男性	1	
	女性	1	
長浜	男性	1	
	女性		
高島	男性		
	女性		
計		18	(4)

表中の空白は報告数0人

*1: 調査開始(平成19年5月23日)以前にさかのぼり報告のあった事例を含む。また、定点把握調査による報告数を含む。

*2: 感染症発生動向調査事業に基づき指定されている32の定点(小児科)からの報告。

2)年齢別発生状況(平成19年7月5日現在)



年齢	報告数(人)	
	全数調査	定点把握調査(再掲) ^{*2}
0	2	(1)
1	0	
2	1	(1)
3	0	
4	0	
5	0	
6~7	0	
8~9	1	
10~14	4	(1)
15~19	4	
20~	6	(1)
計	18	(4)

参考

感染症発生動向調査事業に基づく定点把握調査^(*)における発生状況(平成13年~平成18年)

年	H13	H14	H15	H16	H17	H18
患者報告数(人)	169	94	20	10	10	10

(*)：滋賀県内で指定された32の医療機関(小児科定点)を対象に実施している調査

滋賀県における全数報告感染症の概要(平成19年第23～26週、6/4～7/1)

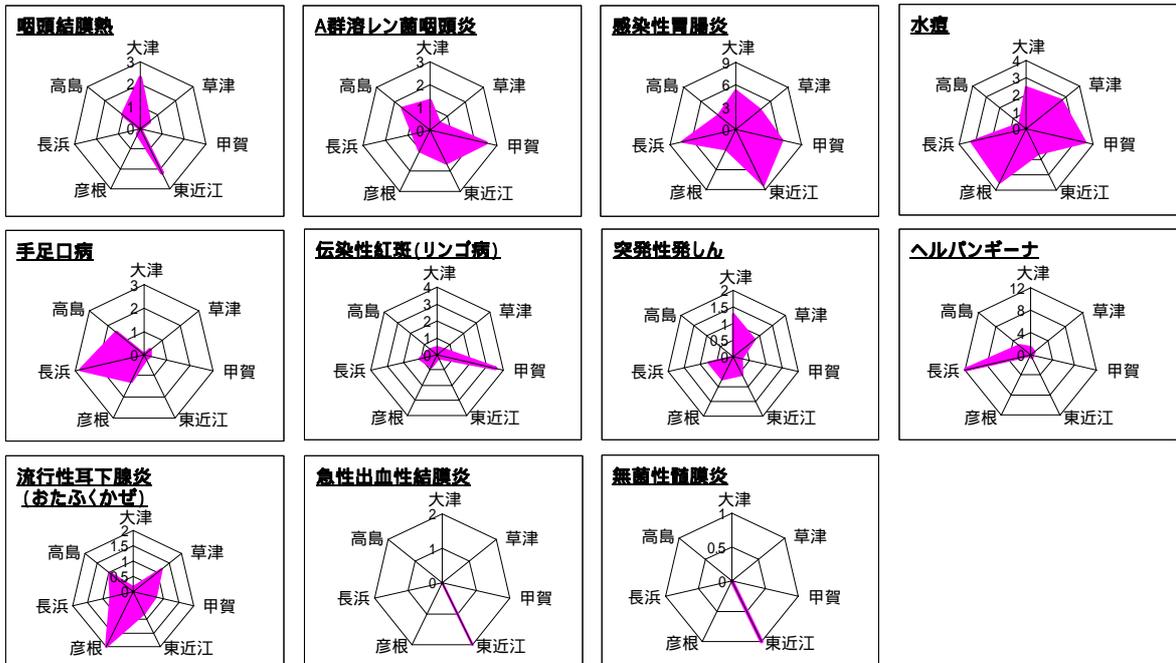
感染症種別	疾患名	1～22週の 累積報告数	23～26週の 報告件数	概 要		
				菌種 血型等	推定感染地域	推定感染原因・ 感染経路等
一類感染症	報告なし					
二類感染症	結核	43	H1965	胸骨カラス	日本国内	その他
			H1966	肺結核	日本国内	飛末飛末感染
		感染症法改正により第4週から集計	H1967	肺結核	日本国内	飛末飛末感染
			H1967	肺結核 管状結核菌(シノ) 肺結核併発	(英) 日本国内	飛末飛末感染
			H19611	肺結核	日本国内	飛末飛末感染
			H19613	胸骨結核	日本国内	その他
			H19615	肺結核	日本国内	飛末飛末感染
			H19618	肺結核	日本国内	不明
			H19619	肺結核	日本国内	不明
			H19618	肺結核	日本国内	その他
			H19619	肺結核	日本国内	不明
			H19622	肺結核	日本国内	飛末飛末感染
			H19623	肺結核	日本国内	飛末飛末感染
			H19625	肺結核	日本国内	飛末飛末感染
			H19627	結核性腎臓炎	日本国内	不明
			H19627	肺結核	日本国内	飛末飛末感染
			H19625	肺結核	日本国内	飛末飛末感染
			H19627	肺結核	日本国内	飛末飛末感染
		H19629	肺結核	日本国内	その他	
三類感染症	細菌性疥癬 (+H193311は二類感染症)	2 ^(*)	報告なし			
		(*)検査法第2条の1に基づき検査機関から感染報告への通知による				
	腸管出血性大腸菌感染症	8	H1968	血清型O157 産生毒素型VT1(+)/VT2(+)	日本国内	経口感染
			H19616	血清型O157 産生毒素型VT1(+)/VT2(+)	日本国内	経口感染
			H19621	血清型O157 産生毒素型VT1(-)/VT2(+)	日本国内	経口感染(レバー)
			H19626	血清型O157 産生毒素型VT1(-)/VT2(+)	日本国内	接触感染
			H19616	血清型O157 産生毒素型VT1(+)/VT2(+)	日本国内	不明
		* VT1:ベロ毒素型 VT2:ベロ毒素型				
四類感染症	デング熱	1	報告なし			
	マラリア	0	H19611	熱帯熱マラリア	インドネシア	動物蚊媒からの感染
	レジオネラ症	1	H19612	ポティアック型	日本国内	塵埃感染
			H19618	肺炎型	日本国内	水系感染
五類感染症	アメーバ病	7	報告なし			
	ウイルス肝炎	1	報告なし			
	クイツェルトヤコ病	2	H19626	疑い	日本国内	不明
	後天性免疫不全症候群	5	H19625	無菌菌痢	日本国内	同生寄生付随
	急性肝炎	1	報告なし			

(2)疾病別・保健所管内別発生状況(第26週、6/25～7/1)

疾患名	定点当たり患者数(県・保健所管内別)								疾患別発生状況(県全体)	
	県	大津	草津	甲賀	東近江	彦根	長浜	高島		
インフルエンザ	0	0	0	0	0	0	0	0		
RSウイルス感染症	0	0	0	0	0	0	0	0		
咽頭結膜熱(プール熱)	1.03	2.29	0.50	0	2.20	0.25	0	1.00	■	
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	1.25	1.29	0.50	2.50	1.60	1.00	0.75	1.50	■	
感染性胃腸炎	5.44	5.14	4.17	6.25	8.20	3.00	7.25	3.00	■	
水痘	2.59	2.43	2.67	3.50	1.60	3.50	3.25	0.50	■	
手足口病	0.72	0	0.33	0.25	0.20	1.25	2.75	1.50	■	
伝染性紅斑(リンゴ病)	0.91	0.43	0.50	3.50	0.20	0.75	1.00	0.50	■	
突発性発しん	0.75	1.29	0.83	0.25	0.60	0.75	0.75	0	■	
百日咳	0	0	0	0	0	0	0	0		
風しん(三日はしか)	0	0	0	0	0	0	0	0		
ヘルパンギーナ	2.13	1.29	0.67	0.25	0.40	0	11.75	2.50	■	
麻しん(成人麻しんを除く)	0	0	0	0	0	0	0	0		
流行性耳下腺炎(おたふくかぜ)	0.88	0.14	1.17	0.75	0.80	2.00	0.75	1.00	■	
急性出血性結膜炎	0.29	0	0	0	2.00	0	0	0	■	
流行性角結膜炎	0	0	0	0	0	0	0	0		
細菌性髄膜炎	0	0	0	0	0	0	0	0		
無菌性髄膜炎	0.14	0	0	0	1.00	0	0	0	■	
マイコプラズマ肺炎	0	0	0	0	0	0	0	0		
クラミジア肺炎(オウム病を除く)	0	0	0	0	0	0	0	0		
成人麻しん	0	0	0	0	0	0	0	0		

■ は定点当たり患者数が先週より増加
 ■ は警報発生中
 ■ は注意報発生中
 0 2 4 6
 定点当たり患者数(人)

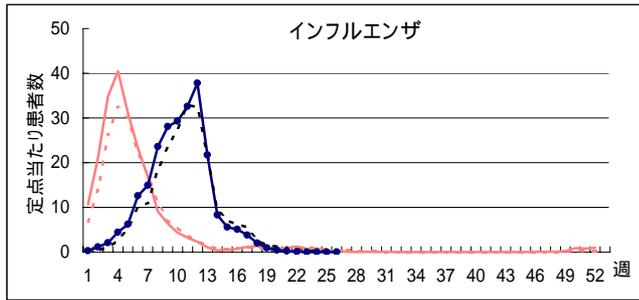
疾患別・保健所管内別発生状況(定点当たり患者数)



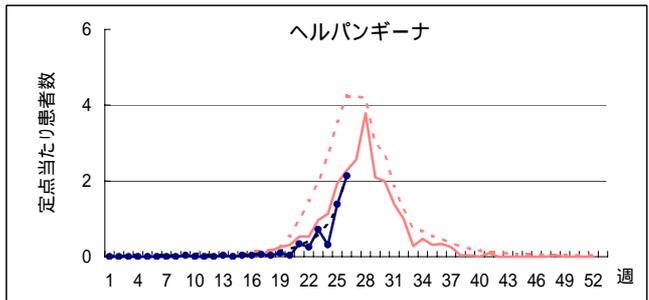
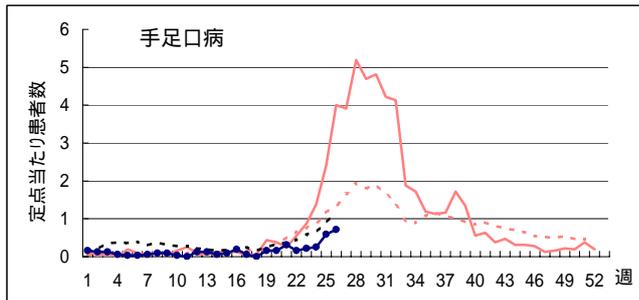
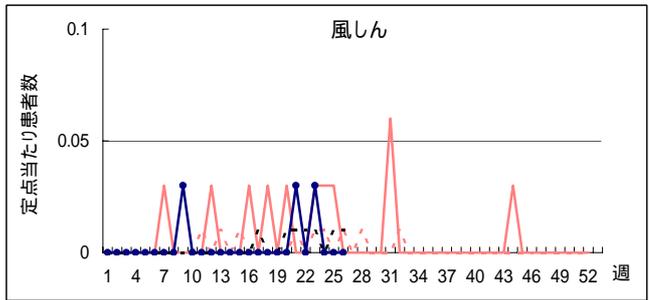
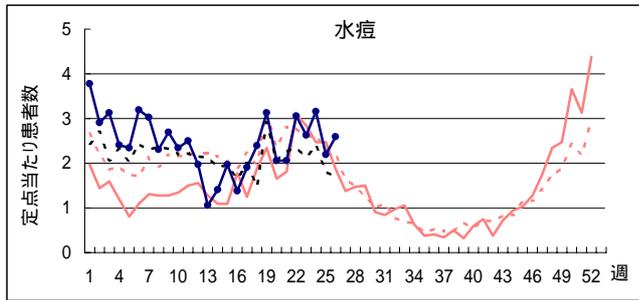
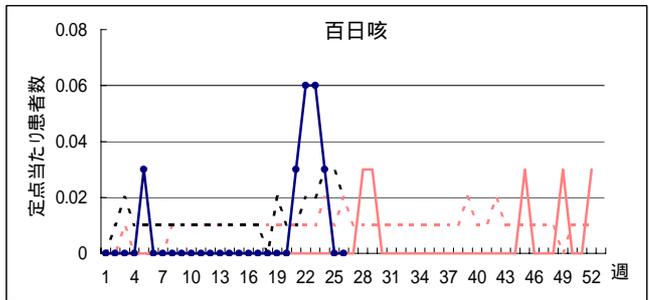
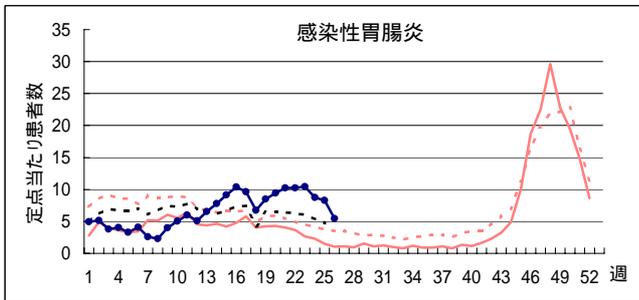
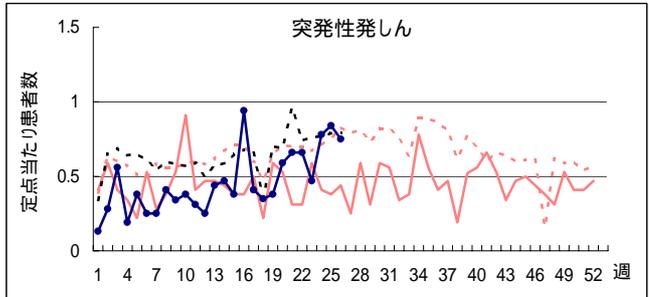
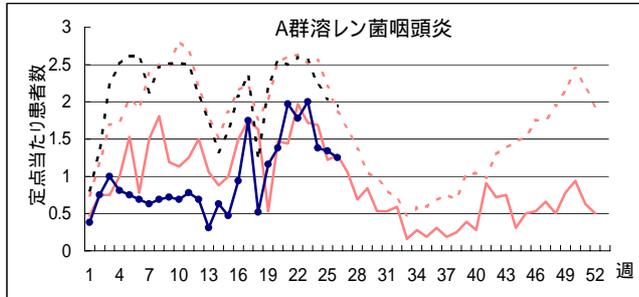
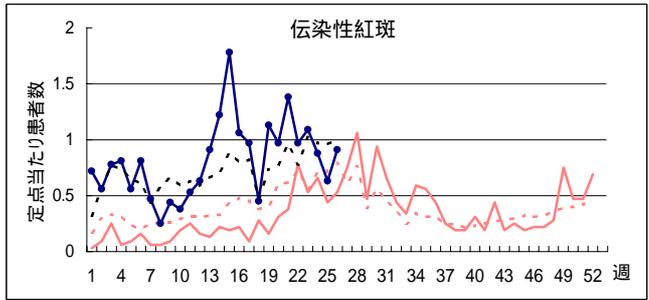
今週の発生状況：

- 咽頭結膜熱-----大津、東近江および高島の定点当たり患者数が警報開始基準値(2.00)または警報継続基準値(0.10)を超えているため警報が発生しています。
- 感染性胃腸炎-----県全体では先週よりかなり減少しています。第26週においては、各保健所管内に警報および注意報は発生していません。
- 水痘-----大津、草津、彦根および長浜で先週より増加し、特に草津で急増しています。
- 手足口病-----先週多かった高島では減少していますが、彦根および長浜で急増しています。また、年齢別発生割合では、1歳で全体の47.8%を占めています。
- ヘルパンギーナ-----先週に引き続き長浜で急増し、定点当たり患者数は11.75と非常に多くなっています。また、警報開始基準値(6.00)を超えているため警報が発生しています。
- 無菌性髄膜炎-----先週に引き続き東近江から報告されています。

疾病別定点当たり患者数(平成19年第1週～第26週、H19.1.1～H19.7.1)



H18 { 滋賀 (solid red line)
 全国 (dotted red line)
 H19 { 滋賀 (solid blue line with dots)
 全国 (dotted black line)



疾病別定点当たり患者数(平成19年第1週～第26週、H19.1.1～H19.7.1)

H18
 〔 滋賀 ————
 全国 - - - - -

H19
 〔 滋賀 ●—●—
 全国 - - - - -

